

かたつむり通信 34号



子どもが主体であること

代表理事 谷山 啓太

私はチャイルドラインの活動のほかに、子どもにかかわることをちらほらとしているので、私のまわりにいる方は、子どもを大切に思い、子どもが生きづらい世の中をどうにかしたい、そんな思いの方が多いです。それでも、次のようなことをたびたび耳にします。

「子どもは大人に忖度して本当の願いは言わないから、大人が子どものためにしっかり責任を果たさない」と

「子どもって正しい意見は言えないですね」等々…

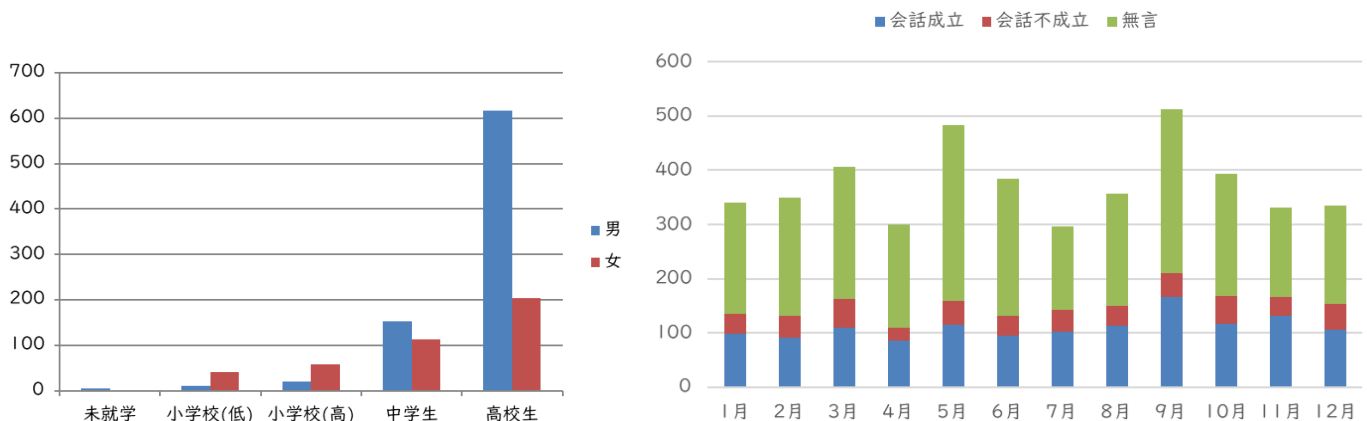
そんな言葉に触れて、もどかしく思います。あなたはどうかしたいの？と、子どもに聞くことは出来ているようです。そこで、子どもが言わない(=言えない)から大人が子どもの最善の利益を考えて行動してしまう。言えたら言えたで、

「自分で言ったんでしょ!」

子どもの本当の願いは何なのか、子どもと一緒に考える。子どもが自分の思いを形にして、言葉として言えるようになるまでサポートする。そこまではじめて子どもの声を聴いたことになるのだと思います。そして、それが子どもにかかわることなら、毎回聴かないといけない。それが大人の責任です。子どもを教え導く対象ではなく「権利の主体」ととらえる。それを私たち大人のコンセンサスにして、子どもに保障する。品川区はそういう「まち」です。子どもたちとそんな約束をしたい。そのために、日々子どもたちと向き合っているチャイルドラインとして、地道に社会発信を続けていきたいと思っています。

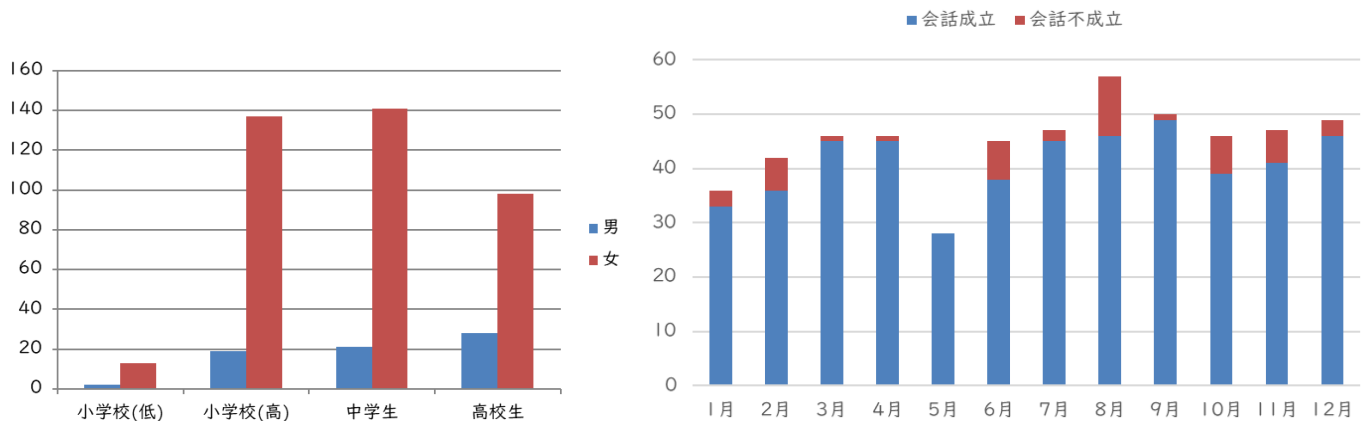
電話／オンラインチャット 2024 年のまとめ (集計期間:2024/1/1~2024/12/31)

◇ 電話	受信数	4,628 件(前年比 8%↑) (全国 162,466 件)
	うち会話成立	1,333 件(前年比 1%↓) (全国 40,875 件)



- ・ 受信件数は前年比で微増、会話成立件数は微減となりました。総通話時間は前年比で 3%増加しています
- ・ 属性別では、高校生年代の男子からの電話がもっとも多くなっています
- ・ 相談の主訴は男女ともに「自分(の心)」に関するものが多く、男子で「性」に関するものが特別に多いことが特徴です
- ・ 希死念慮(死にたい気持ち)を感じられる相談が、前年の 6.2%から 8.2%に増加しました
- ・ 月別の受信数では 5 月と 9 月が多くなりました。夏休み明けのキャンペーンで多くの電話を受けました

◇ オンラインチャット 受信数 541件(前年比11%↓) (全国13,887件)
 うち会話成立 491件(前年比6%↓) (全国11,320件)



- ・ 受信件数、会話成立件数ともに前年比で減少し、総通話時間も10%減少しています。子どもが使うツールが電話からチャットにシフトし、全国の受信は右肩上がりの状況で、私たちの団体のチャット受け手の養成が課題です
- ・ 属性別では、85%が女子からです。電話に比べて年齢層が低く、小学生、中学生からの相談が多くなっています
- ・ 相談の主訴は男女ともに「自分(の心)」に関する相談がトップで、「学校」「家庭」と続きます
- ・ 希死念慮(死にたい気持ち)を感じられる相談が、前年の11.1%から13.0%に増加しました
- ・ 月別の受信数(子どもとの会話成立分)では私たちの受け手不足もあって、これといったピークは見られません

受け手3年目研修(2024年8月31日)



「支え手の役割を体験することで受け手の自分を理解しよう」「支え手の役割を理解しよう」を目的とした研修の内容は、

ロールプレイで支え手役とかけ手役をやってみて、感じたことや気づいたことなどを話し合うというもの。全員が積極的に意見や感想を出し合い、充実した研修会となりました。

<参加者からの感想>

- ・ かけ手と支え手を体験したことにより新たな気づきがあり、それぞれの難しさを感じた。子どもたちの気持ちをしっかり聴くことの大切さを再確認した。(Sさん)

- ・ 支え手、受け手、かけ手を体験し、電話してくる子どもたちのことを改めて考える機会になった。解決するためではなく、電話してくれる子ども自身の気持ちや考えに耳を傾けること。自分の価値観や経験は脇に置いて、子ども自身がどうしたらよいかを一緒に考えていくことが大切だということ。支え手も、受け手が重い気持ちを持ち帰らないようにするだけでなく、少しでも良い受け手になることを支援しようと考えて振り返りをしていることも学ぶことができた。(Tさん)

継続研修(かけている子どもの気持ちになってみよう)(2024年9月24日)

「かけている子どもの気持ちになってみよう」という目的でロールプレイを行う研修。(実際の支え手が)子どもの気持ちに寄り添わない受け手役を演じ、子ども役が電話をかけて、そのときの気持ちをみんなで共有しました。本当は電話を切りたいのに、聞いてくれる人に悪いと思って話を続けちゃった(受け手はどっち?)。アドバイスをされたと

き、そのとおりだな、と思うと同時に、できてない自分が悪いと思って落ち込んだ。等の感想がありました。

気持ちに寄り添わない聴かれ方をした時の子どもの心を体験し、明日から受ける電話を考えさせられました。



23期受け手養成研修(2024年10月1日~12月10日)

12月10日は23期受け手・サポーター養成研修の修了式でした。これまでの10回の研修を踏まえて、受講生みんなでチャイルドラインの大切にしているもの(根っこ)、仲間、目指すもの(果実?)など話し合い「ふせん」を貼りました。各グループ、とっても実り多いしなチャイの木が完成しました。

しなチャイの養成研修は学生・社会人ごちゃまぜのスタイルです。この研修を通じたメンバー同士のかかわりの中で、それぞれが得たものがあるんだな、と感じました。

このあとボランティアを続けてくださる方は、より実践的な研修を積み重ねて、子どもたちの前にデビューしていきます。応援してください♪



子育てメッセ(2024年11月1日)

子育てメッセ1階小ホールでの講演会と親子コンサート(児童虐待防止事業)は、今年度もNPO法人ウーヴ/品川こども劇場/ふれあいの家 - おばちゃんちと企画運営しました。



午前中は、小澤いぶきさんの講演会「泣いた!困った!さあどうする?」で大切なことを学びました。午後は、しながわこども笑顔プロジェクト「S」(福田翔さん/安藤なおこさん

/近藤かをるさん)による、「親子で“S”MILE あそびうた♪親子でうたって、あそんで、わらっちゃおう!いつでもどこでもあそびうた♪」、会場は大人と子どもの笑顔でいっぱいになりました。



普段の活動の中ではふれることのないあどけない小さな子どもたちとふれあうことは、楽しくもあり、私達の活動の意味を改めて考える時間でもありました。

24時間キャンペーン(2024年11月20日~26日)

世界子どもの日(11月20日)、児童虐待防止推進月間に合わせ、チャイルドラインでは1週間24時間子どもの声を聴くキャンペーンを実施しました。しながわチャイルドラインでも期間中に4回12時間、いつもの活動にプラスしました。午前中や早朝に、いつもと違う子どもたちとの出会いがありました。(以下、そのときに寄せられた子どもの声。内容は編集・再構成しています)

・ 親に勉強しろ!がんばれ!と言われてつらい。2月に受

験だけど、もう限界(高校生女子)

- ・ (早朝)いろんなところにかけてたけどここだけつながった。学校でいじめられてつらい。余計に悪くなりそうで誰にも言えていない(中学生男子)
- ・ こないだチャイルドラインに電話したからウチに兎相が来たのかな。そっちで電話番号ってわかるの?兎相が来たことで母にまた怒られた(電話番号は分からないと伝えた)(小学生女子)

出前授業@台場小(2024年12月2日)

品川区立台場小学校の全校朝会で出前授業を行い、全校児童に、「人にそうだんすること」についてお話ししました。チャイルドラインに電話をするとどうなるのか、副校長先生に子ども役に扮していただき、ロールプレイ。あとで子どもたちから頂いた感想では、

「ロールプレイのおかげでよく分かった」

「うれしかったこと、どんなちっぽけなことでも連絡していいのを初めて知った」

「チャイルドラインの印象がガラッと変わった」

というものがあ、10分という時間でも、伝わったかな～、としみじみ。一人でもつながってくれたら、と思います。呼ば

れればどこでも出前に行きますのでお声がけください。



電話&オンラインチャット実績(集計期間:2024/7/1~2024/12/31)

◇ 電話

主訴	7月	8月	9月	10月	11月	12月	計
自分	42	49	68	50	45	47	301
性	28	29	48	20	28	25	178
学校	19	17	31	31	33	23	154
家庭	9	13	15	11	18	7	73
その他	4	5	4	6	8	4	31
計	102	113	166	118	132	106	737

◇ オンラインチャット

主訴	7月	8月	9月	10月	11月	12月	計
自分	23	27	28	15	21	19	133
学校	8	9	10	10	15	13	65
家庭	9	8	6	8	5	8	44
性	1	2	0	1	0	4	8
その他	4	0	5	5	0	2	16
計	45	46	49	39	41	46	266

ご支援ありがとうございます(集計期間:2024/7/1~2024/12/31)

寄付金・賛助会費・助成金の総額:295,700円

ご支援いただいた個人:17名

ご支援いただいた団体:

株式会社東京正武堂様

しなチャイの運営は正会員の会費、賛助会員さまの会費、寄付金、助成金によって成り立っています。会費、ご寄付の用途は、子どもたちに配布するカード作成費(1枚0.7円)、公開講座の開催費などです。

【賛助会員】年会費「1口2,000円」から何口でも

銀行名:ゆうちょ銀行

口座名義人:トクヒ)シナガワチャイルドライン

記号:00160-5/番号:664278

※ゆうちょ銀行以外からお振込みいただく場合

支店名:〇一九(ゼロイチキュウ)

預金種別:当座預金/口座番号:0664278

発行: 特定非営利活動法人 しながわチャイルドライン

〒140-0011 東京都品川区東大井5-23-24 コーポ柴田203

Tel. / Fax. 03-5462-2868

発行月:2025年2月

ホームページ



Facebook

